

加古川ロータリークラブ「尚齒例会」について

尚齒とは

《「礼記」祭義から。「齒」は年齢の意》老人を尊敬すること。敬老。

中国の唐の時代、詩人白樂天が4人の翁を招き管弦・飲食の宴を催し長寿者の健康を祝って行われた「尚齒之会」に由来し、「尚」は尊ぶ・敬うを意味し、「齒」はよわい(齡)を意味しています。つまり「尚齒」とは「敬老」を意味するものです。

また、江戸時代末期には蘭学者の渡辺華山や高野長英を中心に結成されたグループが「尚齒会」を名乗っていました。この会は高齢の隠者・賢者と、それを慕うものが集まり、高齢になっても学問を重ねていこうという会合でした。

尚齒のお祝い(尚齒例会)

上記のような意味を踏まえた上で、現在の加古川ロータリークラブにおいては、1985-86年度より、それまでの敬老のお祝いから尚齒のお祝いに変更され、現在に至っています。(橋本寛一会長・釜江省五幹事・鷺尾治郎親睦委員長)